

第2学年 美術科学習指導案

日時 平成24年10月26日(金) 5校時

生徒 2年3組 男子18名 女子17名 計35名

指導者 山口 千賀子 (滝沢第二中学校)

1 題材

「私の守護神」— B鑑賞：阿修羅像の鑑賞を通して

2 題材の目標

- 阿修羅像の造形的なよさや美しさを感じとり、見方を深める。
- 作品を自分の価値観を持って鑑賞し、お互いの考え方に共感したり、自分の考えを交流する。
- 日本美術の伝統と文化に対する理解と、諸外国がお互いに影響し合いながら文化を築き上げてきた人類の歴史を学び、美術文化の継承と創造への関心を高める。

3 題材について

B鑑賞については、第2学年では、自然や美術作品、文化遺産などの鑑賞を通して、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を広げ、美意識を高め、生活を美しく豊かにする美術の働きや、美術や文化に対する理解を深めることなどをねらいとしている。

京都、興福寺の阿修羅像は、天平文化を代表する国宝である。若く、表情に富んだその顔と像容は三面六臂の異形で筋肉をそぎ落としたような細身の身体は、仏像としても珍しく、生徒の仏像に対するイメージからはほど遠い。しかし、成長の過渡期にある中学生にとっては、洗練された完成形の仏像よりは興味を持って受入れることができそうである。特に憂いを含んだその表情は、人間味があり、鑑賞にふさわしい作品とも言える。

2年生にとっては、まだその奥深さは、言葉で表現しにくいところはあるが、普段馴染みのない美術作品の鑑賞のとりかかりには、如来像や菩薩像よりも、天部や明王の方が造形的な面白さを感じる事が出来ると考える。

4 指導にあたって

明るく、元気よく活動でき、思ったことを素直にコミュニケーションできる学級である。美術に対する関心はあまり高くはないが、学習に対して真面目で必要な事は最後まで集中して頑張れる。鑑賞は好きな作品を鑑賞し、模写をするというかたちで行って来ているが、じっくりと、一つの作品に向き合い鑑賞する経験はまだない。また、石彫のためのアイデアスケッチのために、抽象彫刻の鑑賞を2年生で行っているが、対話型の鑑賞は今回が初めてになる。

教科書の中の資料、「感じたことを話し合おう」(光村図書：美術2・3上)を資料としながら、お互いの様々な感想を交流し合い、自分の考えを相手に伝わるように話させたい。そこから、日本美術のよさと鑑賞の楽しさを感じとらせたい。

5 題材の評価規準

	美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
概ね達成できる状況	・作品の造形的なよさや美しさを感じとろうと主体的に、学習活動に取り組んでいる。	・自分の感じたことを他者に伝え、また自分も周囲の感じたことを自分の感じたことと対比させながら、共感したり、相違を感じとったりできる。

6 題材の指導計画(1時間)

- (1) 阿修羅像の鑑賞から、様々な感想を引き出し、それぞれの考えを交流させることで、それぞれの思いを深めさせる。
- (2) 自分たちでは解決できない疑問を発表し合い、対話をすることで、その中から新しい発想を導き出していく。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 阿修羅像の鑑賞からその良さや美しさを感じとり、文章として表すとともにグループの中で、お互いの感じたことを交流することができる。
- ・ 対話を通じた鑑賞の中で、日本美術の良さを感じとり、興味・関心を高めることができる。

(2) 展開

過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ◎評価
導入 10分	<p>1 「阿修羅像」の鑑賞と初発の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書、「阿修羅像」を見て、初発の感想を鑑賞プリントの付箋に書く。 ・ 班の感想をまとめる。 <p>2 等身大の阿修羅像の資料を鑑賞し、これからの学習の見通しを分かる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>感じた事を話し合い、自分の考えを深めよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの感想をもとに、自分の考えを振り返る。 ・ 班の感想をまとめた用紙を黒板に貼る。 <p>◎協力して、班の感想をまとめているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞のために、お互いの感じ方を 交流することが必要であることを理解し、見通しを持たせる。
展開 30分	<p>3 教科書から分かる事の読み取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何時、どこで、誰が、何を、どのようにという疑問を解決していく中で、阿修羅像とは何かを解明していく。 ・ 教科書の解説から分かる事をグループワークで見つけていく。鑑賞プリントに書き込みながら、確認をする。 <p>4 仏像の特徴と、阿修羅像の意味</p> <p>5 仏教美術や、阿修羅像について学習し、改めて阿修羅像に何を感じるかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いたことをもとに、感じた事や疑問に思ったことを発表する。 ・ 鑑賞のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間は短く、解説を主とする。 ・ 鑑賞では、予備知識なく作品と出会う事も、また知識を持って作品を鑑賞する事もどちらも作品の良さを味わう事には変わりはない事を理解させる。 <p>◎全員が作業に参加しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏像の役割表の提示。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した事も頭に入れながら、感じたことを発表する。 ・ たくさんの考えを引き出す。 ・ まとめのグループワーク ・ 作業の中で、同じような表現はまとめるが、違う事は全部班の掲示用プリントに記入する。 <p>◎周囲に伝わる声で話しているか。</p>
終末 10分	<p>6 鑑賞の中で感じた事の発表。</p> <p>7 まとめ自己評価と感想の学習プリントへの記入。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する時の立ち位置の確認。 <p>◎みんなに聞こえる声で発表できているか。</p> <p>◎協力の体制があるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの学習活動を振り返り、考えが深まったかどうかを確認する。 ・ 石彫の「私の守護神」につなげる。